

# 水災害リスクコミュニケーションポータルサイト (R6.6.7運用開始)

---

北陸地方整備局 河川部  
水災害対策センター



国土交通省発足25年目！

国土省1期生インタビューを公開中！

[詳しく見る ▶](#)

## 政策情報・分野別一覧

 総合政策 ▶	 国際 ▶	 危機管理 ・運輸安全 ▶	 公共交通 ▶	 国土政策 ▶	 土地・不動産 ・建設業 ▶	 都市 ▶
 水管理・国土 保全 ・上下水道 ▶	 道路 ▶	 住宅・建築 ▶	 鉄道 ▶	 物流・自動車 ▶	 海事 ▶	 港湾 ▶

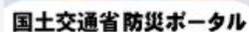
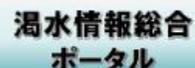
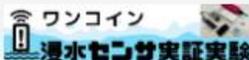
ここを  
クリック

[ホーム ▶](#)[国土交通省について ▶](#)[報道・広報 ▶](#)[政策・法令・予算 ▶](#)[オープンデータ ▶](#)

## 水管理・国土保全

[河川](#) > [ダム](#) > [砂防](#) > [海岸](#) > [水資源](#) > [上下水道](#) > [防災](#) > [環境](#) > [利用](#) > [国際](#) > [情報・技術](#)[ホーム](#) > [政策・仕事](#) > [水管理・国土保全](#)

### 災害・防災関連情報



### トピックス

- ▶ [水管理・国土保全局DX](#) **NEW!**
- ▶ [流域治水施策集・優良事例集](#) **NEW!**
- ▶ [流域治水関連法に基づく流域治水の本格的実践](#) **NEW!**
- ▶ [ハイブリッドダム](#) **NEW!**
- ▶ [流域治水プロジェクト](#) **NEW!**
- ▶ [ワンコイン浸水センサ実証実験](#) **NEW!**
- ▶ [流域治水関連法](#) **NEW!**
- ▶ [流域治水の推進](#) **NEW!**
- ▶ [国から都道府県への予測水位情報の提供（水防法等の改正）](#) **NEW!**
- ▶ [流域治水ロゴマーク](#) **NEW!**
- [水害リスクコミュニケーションポータルサイト](#) **ここをクリック!!**
- [NIPPON防災資産](#)

### 新着情報

ホーム **ここをクリック!!**

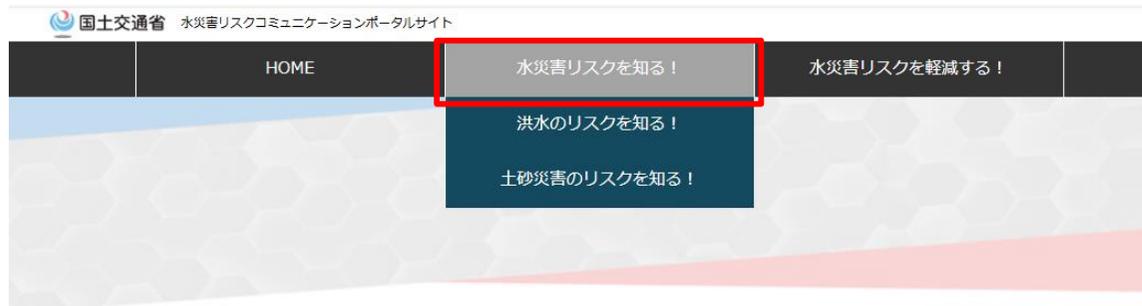
近年、気候変動の影響による水災害が激甚化・頻発化する中、国土交通省では、平時からあらゆる関係者が自らの水災害リスク情報を理解し、リスクを減少・分散・回避するための行動を促すための取組を進めています。こうした取組を進めるためには、相互理解の下で信頼・実感に基づく関係性を構築できるような、「水災害リスクコミュニケーション」の取組が重要です。

本サイトでは、こうした水災害リスクコミュニケーションの取組の一環として、どんな水災害リスク情報があるのか、どのように使えばよいかなどを解説し、主に民間企業や行政機関などが、自らの水災害リスクをしっかりと確認し、平常時において主体的な減災行動を取ることができるような情報を発信します。



## 新着情報

2024年6月7日 水災害リスクコミュニケーションポータルサイトの運用を開始しました。



ホーム > 水災害リスク 知る!

## 知って使おう 水災害リスク情報!

近年、気候変動の影響による水災害が激甚化・頻発化しており、毎年日本各地で洪水や土砂災害が発生しています。そのため、それらのリスクを平常時から知って備えておくことが重要です。

### 洪水



平成30年7月豪雨 小田川堤防決壊  
岡山県倉敷市真備町



「平成30年7月豪雨 浸水被害（江津市提供）  
島根県江津市川越

ここを選択!!

### 土砂災害



平成30年7月豪雨 土砂災害（国道31号）  
広島県安芸郡坂町（JR水尻駅付近）



平成30年7月豪雨 土砂災害  
広島県安芸郡坂町（総頭川）



まずは、水災害リスク（洪水・土砂災害）を知ることが重要です！

洪水のリスクを知る！ ▶

土砂災害のリスクを知る！ ▶



ホーム > 水災害リスク 知る！ > 知って使おう 洪水リスク情報！

## 知って使おう 洪水のリスク情報！

近年、気候変動の影響による水災害が激甚化・頻発化する中、平時からあらゆる関係者が主体的に減災行動をとることが重要となっています。

国土交通省では、これまで、洪水ハザードマップのもととなる洪水浸水想定区域図をはじめとして、様々な水害リスク情報を公表してきました。水害リスク情報には、最悪の事態を想定して命を守るという考え方で避難計画の検討や避難行動の判断を行う場合に有効な洪水浸水想定区域図の他、様々な規模の洪水の浸水想定図を確率規模別に作成した「多段階の浸水想定図」や、それらを重ね合わせて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ」があります。これらは、水害リスクを踏まえたまちづくりや住まい方の工夫、企業の立地選択、学校の浸水対策等において有効な情報です。

また、堤防決壊時の地点毎・時間毎の浸水域や浸水深をcm単位で知ることができる「浸水ナビ」、過去に川が流れていた場所（旧河道）などの土地の成り立ちを知ることができる「治水地形分類図」があり、こうした情報を活用することで、その場所の潜在的な危険性を把握することができます。本サイトでは、知りたい場所の水害リスクを把握するために手がかりになる水害リスク情報をまとめたものです。水害リスク情報を活用し、水害リスクを自分事化するとともに、自らの主体的な減災行動につなげるための参考として下さい。

平常時から確認する必要がある洪水時のリスク

- 水没** 建物や道路等が浸水してしまうリスク  
浸水の頻度の情報を公開
- 家屋倒壊** 建物等が倒壊してしまうリスク  
※土地ごと建物流れされたり、水の勢いで建物流される場合があります。
- 孤立** 一定期間、建物の周辺から水が引かずに逃げられなくなってしまうリスク  
※50cm以上の浸水が継続するリスク

- ▶ **水害リスク情報にどのようなものがあるのかを知りたい**
- ▶ **【水没】浸水の範囲や深さを知りたい**
- ▶ **【浸水頻度】浸水の頻度を知りたい**
- ▶ **【家屋倒壊】氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい**
- ▶ **【孤立】浸水してから水が引くまでにかかる時間を知りたい**
- ▶ **地点別・時間別の詳しい浸水情報を知りたい**
- ▶ **土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい**
- ▶ **洪水浸水想定区域図のデータ活用事例**
- ▶ **水災害のリスクと不動産情報**

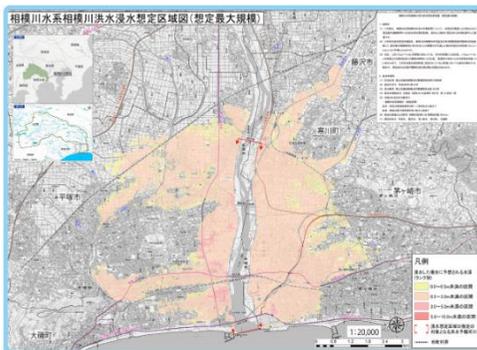
## 水害リスク情報にどのようなものがあるのかを知りたい

ここでは、知りたい場所の水害リスクを把握するために手がかりになる水害リスク情報をまとめています。

水害リスク情報を活用し、水害リスクを自分事化するとともに、自らの主体的な減災行動につなげるための参考として下さい。

1 浸水の範囲と深さを知る 避難計画に まちづくりに 住まい方の工夫に 企業の浸水対策や立地選択に

### 洪水浸水想定区域図 (浸水深・浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域)



洪水浸水想定区域図は、想定し得る最大規模の降雨により浸水が想定される区域及び浸水深を示したハザードマップの基となる図です。また、洪水浸水想定区域図では、氾濫流や河岸侵食によって家屋倒壊等のおそれがある家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水継続時間を知ることができます。

ハザードマップポータルサイト  
洪水浸水想定区域図  
(浸水深・浸水継続時間  
家屋倒壊等氾濫想定区域)

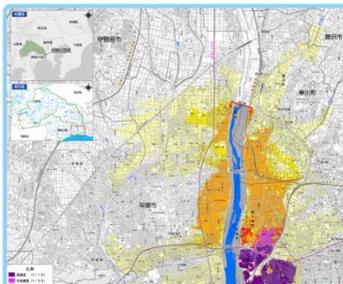
洪水浸水想定区域図 検索

入手先▶ 国土交通省

2 浸水の頻度を知る まちづくりに 住まい方の工夫に 企業の浸水対策や立地選択に 学校施設の浸水対策に

### 水害リスクマップ／多段階浸水想定図

多段階浸水想定図は、比較的発生頻度の高い降雨規模も含め複数の降雨規模毎に想定される浸水範囲と浸水深を示した図です。また、水害リスクマップは、それらを重ね合わせて浸水範囲と浸水頻度の関係を示した図です。中小規模の洪水などの浸水しやすい場所を知ることができます。



3 より詳しい浸水情報を知る 避難計画に まちづくりに 企業の浸水対策や立地選択に

### 地点別・時間別浸水想定区域図・浸水深(浸水ナビ)

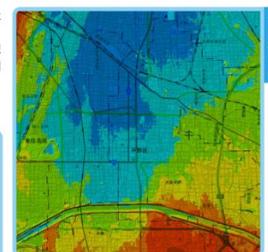
浸水ナビでは、地点別の破堤後の浸水シミュレーショングラフや浸水域のアニメーションを確認できます。また、河川名で想定破堤点を検索することができます。また、特定の地点・住所・地名から該当地点等に影響を与える想定破堤点を検索することができます。



4 地形や土地の成り立ちから水害リスクを知る まちづくりに 住まい方の工夫に

### 治水地形分類図／色別標高図

治水地形分類図は、旧河道、湿地、微高地(自然堤防)などの土地の成り立ちを確認することができます。また、色別標高図は、標高の変化を色別に確認することができます。これらを浸水想定区域図や浸水継続時間などと合わせて確認することで、相対的かつ潜在的な水害の危険性を知ることができます。



地理院地図  
(治水地形分類図  
色別標高図)

地理院地図 検索

入手先▶ 国土院

参考資料

▶ **さまざまな水害リスク情報～浸水リスクを考慮しより安全・安心な社会に～**

浸水ナビ

浸水ナビ 検索

入手先▶ 国土交通省

平常時から確認する必要がある洪水時のリスク

**水没**

**建物や道路等が浸水してしまうリスク** → **浸水の頻度の情報を公開**

**家屋倒壊**

**建物等が倒壊してしまうリスク**  
※土地ごと建物が流されたり、水の勢いで建物が流される場合があります。

**孤立**

**一定期間、建物の周辺から水が引かずに逃げられなくなってしまうリスク**  
※50cm以上の浸水が継続するリスク

- ① **水害リスク情報にどのようなものがあるのを知りたい**
- ② **【水没】 浸水の範囲や深さが知りたい**
- ③ **【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい**
- ④ **【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい**
- ⑤ **【孤立】 浸水してから水が引くまでにかかる時間を知りたい**
- ⑥ **地点別・時間別の詳しい浸水情報が知りたい**
- ⑦ **土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい**
- ⑧ **洪水浸水想定区域図のデータ活用事例**
- ⑨ **水災害のリスクと不動産情報**

ホーム > 水災害リスク知る上 > 知って使おう 洪水リスク情報上 > 【水没】 浸水の範囲や深さが知りたい

## 【水没】 浸水の範囲や深さが知りたい

浸水の範囲や深さのリスクは、自治体等が作成・公表しているハザードマップから確認することができます。ここでは、「重ねるハザードマップ」を事例にして、リスクの確認方法を紹介いたします。

[重ねるハザードマップを開く](#)

住所、現在地、地図のいずれから遷移する。



1: 洪水を選択する。

2: 下記の項目が選択されていることを確認する。  
・想定最大規模



**位置情報** 洪水浸水想定区域

住所: 静岡県静岡市 駿河区中島 (付近の住所。正確な所属を示すとは限らない。)  
標高: 4.0m (データソース: DEM5A)

**洪水によって想定される浸水深: 3.07m(想定最大規模)**  
凡例: 3.0m ~ 5.0m(想定最大規模)

洪水によって想定される浸水深: 3.0m ~ 5.0m

4: さらにズームして、確認したい箇所をクリックすると、洪水によって浸水する浸水深が表示される。

5: たまたまれたバーをクリックすると詳細情報が表示される。

6: 洪水浸水想定区域をクリックすると凡例の浸水深、選択した場所の住所、標高、浸水深を表示する事できる。

3: ズームしていくと、色分けされた箇所が確認できる。水深が6段階に色分けされている。色が濃い程、土地や建物が水に浸かる深さが深くなる。

**7: 洪水によって、具体的な想定される浸水深が確認できる。**

※現在、浸水想定区域内となっていない箇所でも、まだ区域指定されていない空白域である可能性があります。令和7年度までに一級、二級河川の洪水浸水想定区域の完了を、下水道の雨水出水浸水想定区域は8割完了を目指しています。口周囲より標高の低い地区では、過去の浸水実績や地形条件から浸水の危険性を確認しましょう。

平常時から確認する必要がある洪水時のリスク

**水没**

建物や道路等が浸水してしまうリスク → **浸水の頻度の情報を公開**

**家屋倒壊**

建物等が倒壊してしまうリスク  
※土地ごと建物が流されたり、水の勢いで建物が流される場合があります。

**孤立**

一定期間、建物の周辺から水が引かずに逃げられなくなってしまうリスク  
※50cm以上の浸水が継続するリスク

- ▶ [水害リスク情報にどのようなものがあるのかを知りたい](#)
- ▶ [【水没】 浸水の範囲や深さが知りたい](#)
- ▶ **[【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい](#)**
- ▶ [【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい](#)
- ▶ [【孤立】 浸水してから水が引くまでにかかる時間を知りたい](#)
- ▶ [地点別・時間別の詳しい浸水情報が知りたい](#)
- ▶ [土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい](#)
- ▶ [洪水浸水想定区域図のデータ活用事例](#)
- ▶ [水災害のリスクと不動産情報](#)

ホーム > 水災害リスク 知る！ > 知って使おう 洪水リスク情報！ > 【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい

## 【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい

水害リスクを踏まえた土地利用や住まい方の工夫の検討、企業の立地選択、防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、多段階浸水想定図、水害リスクマップを作成、公表しています。多段階浸水想定図は、1/10, 1/30, 1/50, 1/100, 1/150, 1/200といったように、1年間に発生する確率での浸水想定を段階的に作成しています。水害リスクマップでは、浸水深の違いごとに「浸水が想定される範囲」、「床上以上の浸水が想定される範囲」、「2階以上の浸水が想定される範囲」の3パターンを作成しています。

● [水害リスクマップ一覧](#)

▼多段階浸水想定図と水害リスクマップの解説動画



[戻る](#)

**★ 多段階浸水想定図**

1/200

**★ 水害リスクマップ**

0.0m以上

洪水を踏まえた、**土地利用**や**住まい方の工夫**、**企業の立地選択**、**防災まちづくりの検討**などを行うための水害リスク情報



平常時から確認する必要がある洪水時のリスク

**水没**

**建物や道路等が浸水してしまうリスク** → **浸水の頻度の情報を公開**

**家屋倒壊**

**建物等が倒壊してしまうリスク**  
※土地ごと建物が流されたり、水の勢いで建物が流される場合があります。

**孤立**

**一定期間、建物の周辺から水が引かずに逃げられなくなってしまうリスク**  
※50cm以上の浸水が継続するリスク

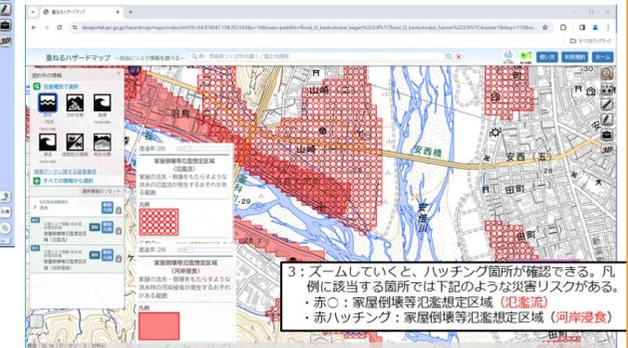
- ▶ 水害リスク情報にどのようなものがあるのを知りたい
- ▶ 【水没】 浸水の範囲や深さが知りたい
- ▶ 【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい
- ▶ 【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい
- ▶ 【孤立】 浸水してから水が引くまでにかかる時間を知りたい
- ▶ 地点別・時間別の詳しい浸水情報が知りたい
- ▶ 土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい
- ▶ 洪水浸水想定区域図のデータ活用事例
- ▶ 水災害のリスクと不動産情報

ホーム > 水災害リスク 知る > 知って使おう 洪水リスク情報 > 【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい

## 【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい

氾濫時に家屋の流出や倒壊のリスクは、自治体等が作成・公表しているハザードマップから確認することができます。ここでは、「重ねるハザードマップ」を事例にして、リスクの確認方法を紹介します。

[重ねるハザードマップを開く](#)



堤防決壊時など、水の勢いによって家屋が流され倒壊する危険性があります。



水の勢いによって、土地が削られて、土地ごと家屋が流され倒壊する危険性があります。

平常時から確認する必要がある洪水時のリスク

**水没**

建物や道路等が浸水してしまうリスク → 浸水の頻度の情報を公開

**家屋倒壊**

建物等が倒壊してしまうリスク  
※土地ごと建物が流されたり、水の勢いで建物が流される場合があります。

**孤立**

一定期間、建物の周辺から水が引かずに逃げられなくなってしまうリスク  
※50cm以上の浸水が継続するリスク

- ▶ 水害リスク情報にどのようなものがあるのを知りたい
- ▶ 【水没】 浸水の範囲や深さが知りたい
- ▶ 【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい
- ▶ 【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい
- ▶ 【孤立】 浸水してから水が引くまでにかかる時間を知りたい
- ▶ 地点別・時間別の詳しい浸水情報が知りたい
- ▶ 土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい
- ▶ 洪水浸水想定区域図のデータ活用事例
- ▶ 水災害のリスクと不動産情報

## 【孤立】 浸水してから水が引くまでにかかる時間を知りたい

浸水してから水が引くまでにかかる時間は、自治体等が作成・公表しているハザードマップから確認することができます。ここでは、「重ねるハザードマップ」を事例にして、リスクの確認方法を紹介します。

重ねるハザードマップを開く



住所、現在地、地図のいずれから遷移する。

1: 洪水を選択する。

2: 下記の項目が選択されていることを確認する。  
・浸水継続時間

凡例	色
12時間未満	青
12時間～1日未満	緑
1日～3日未満	黄
3日～1週間未満	橙
1週間～2週間未満	赤
2週間～4週間未満	紫
4週間以上～	黒

3:ズームしていくと、色分けされた箇所が確認できる。7段階に色分けされ、色が濃い程土地が水に浸っている時間が長くなる。

## 平常時から確認する必要がある洪水時のリスク

**水没**

**建物や道路等が浸水してしまうリスク** → **浸水の頻度の情報を公開**

**家屋倒壊**

**建物等が倒壊してしまうリスク**  
※土地ごと建物が流されたり、水の勢いで建物が流される場合があります。

**孤立**

**一定期間、建物の周辺から水が引かずに逃げられなくなってしまうリスク**  
※50cm以上の浸水が継続するリスク

- ① 水害リスク情報にどのようなものがあるのかを知りたい
- ② 【水没】 浸水の範囲や深さが知りたい
- ③ 【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい
- ④ 【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい
- ⑤ 【孤立】 浸水してから水が引くまでにかかる時間を知りたい
- ⑥ 地点別・時間別の詳しい浸水情報が知りたい
- ⑦ 土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい
- ⑧ 洪水浸水想定区域図のデータ活用事例
- ⑨ 水災害のリスクと不動産情報

## 地点別・時間別の詳しい浸水情報が知りたい

浸水ナビでは、ハザードマップでは分からない具体的な地点で堤防決壊した場合の浸水の範囲や深さのリスクを確認することができます。また、どのように浸水が広がっていくのか、などの時間別の浸水の範囲や深さを確認することができます。

浸水ナビを開く



「浸水シミュレーションを確認する」から遷移する

- 1: 「地点から」を選択する
- 2: 見たい位置へ拡大しながら移動
- 3: 「地図上で指定」をクリックする
- 4: 見たい地点をダブルクリックする

- 5: ダブルクリックした地点が×で表示されているのを確認
- 6: ×地点で浸水する可能性のある破堤点が表示される。特に、浸水深が最大になる破堤点は赤く表示される。
- 7: 最大の破堤点をクリックする

経過時間ごとの浸水範囲が広がる様子の例

破堤してからの経過時間ごとの浸水範囲が確認できる

9: 見たい地点をワンクリック

見たい地点の最大浸水深を数値とイラストから確認

8: 破堤点情報とその地点で破堤した時の最大の浸水想定区域図が表示される

※現在、浸水想定区域内となっていない箇所でも、まだ区域指定されていない空白域である可能性があります。令和7年度までに一級・二級河川の洪水浸水想定区域の完了を、下水道の雨水出水浸水想定区域は8割完了を目指しています。口周面より標高の低い地区では、過去の浸水実績や地形条件から浸水の危険性を確認しましょう。

平常時から確認する必要がある洪水時のリスク

**水没**

建物や道路等が浸水してしまうリスク → 浸水の頻度の情報を公開

**家屋倒壊**

建物等が倒壊してしまうリスク  
※土地ごと建物が流されたり、水の勢いで建物が流される場合があります。

**孤立**

一定期間、建物の周辺から水が引かずに逃げられなくなってしまうリスク  
※50cm以上の浸水が継続するリスク

- ① 水害リスク情報にどのようなものがあるのを知りたい
- ② 【水没】 浸水の範囲や深さが知りたい
- ③ 【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい
- ④ 【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい
- ⑤ 【孤立】 浸水してから水が引くまでにかかる時間を知りたい
- ⑥ 地点別・時間別の詳しい浸水情報が知りたい
- ⑦ 土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい
- ⑧ 洪水浸水想定区域図のデータ活用事例
- ⑨ 水災害のリスクと不動産情報

## 土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい

土地の成り立ちを知り、その土地の危険性を確認することは、洪水や土砂災害などの水災害リスクを推定することに繋がります。土地の成り立ちを知る手段として、治水地形分類図を公表しており、国土地理院のホームページにて確認することができます。

国土地理院を開く



「地理院地図を見る」をクリック

1: 地図をクリック

2: 「土地の成り立ち・土地利用」を選択

3: 「治水地形分類図」を選択

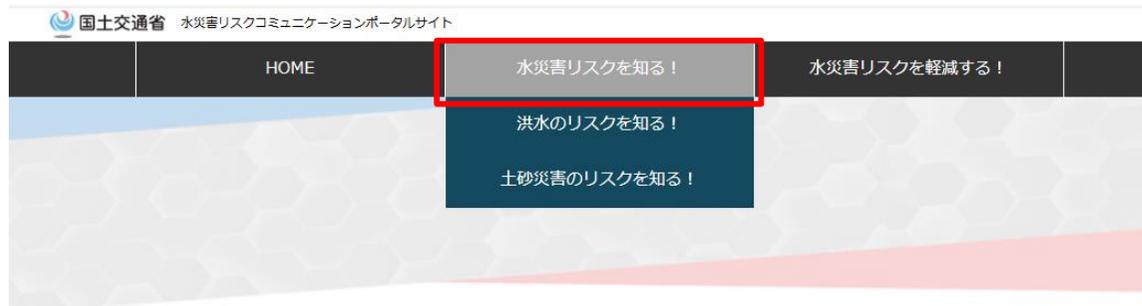
4: 拡大していくと詳細図が表示されていく

低地や特に旧河道など注意が必要な場所が分かる

5: iマークを押して、「凡例を表示」を押す

6: 別タブで凡例が表示される

大分類	中分類	小分類	説明	記号
山地	段丘崖	段丘崖		
		崖(段丘崖)		
		洗い谷		
低地	山麓沖積地	扇状地		
		扇状地		
		扇状地		
河川	河川	河川		
		河川		
		河川		



ホーム > 水災害リスク 知る！

## 知って使おう 水災害リスク情報！

近年、気候変動の影響による水災害が激甚化・頻発化しており、毎年日本各地で洪水や土砂災害が発生しています。そのため、それらのリスクを平常時から知って備えておくことが重要です。

### 洪水



平成30年7月豪雨 小田川堤防決壊  
岡山県倉敷市真備町



「平成30年7月豪雨 浸水被害（江津市提供）  
島根県江津市川越

ここを選択!!

### 土砂災害



平成30年7月豪雨 土砂災害（国道31号）  
広島県安芸郡坂町（JR水尻駅付近）



平成30年7月豪雨 土砂災害  
広島県安芸郡坂町（総頭川）



まずは、水災害リスク（洪水・土砂災害）を知ることが重要です！

洪水のリスクを知る！ ▶

土砂災害のリスクを知る！ ▶

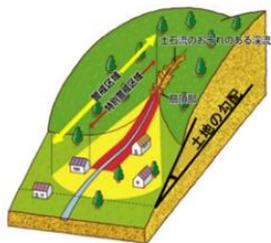


## 知って使おう 土砂災害のリスク情報！

土砂災害の発生の恐れがある区域として、「土石流」「地滑り」「急傾斜地の崩壊」ごとに土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域が指定されています。特に、土砂災害特別警戒区域では、特定開発行為に関する制限や建築物の構造規制、移転等の勧告等が行われる区域となります。

### 土石流

※山腹が崩壊して生じた土石等又は深流の土石等が水と一体となって流下する自然現象



・土地の勾配2度以上

### 地滑り

※土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象又はこれに伴って移動する自然現象



・地滑りの長さの2倍以内<sup>※1</sup>

※1 ただし250mを越える場合は250m

### 急傾斜地の崩壊

※傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象



・急傾斜地の上端から10m<sup>※2</sup>  
・急傾斜地の下端から高さの2倍以内

※2 ただし50mを越える場合は50m

### 土砂災害警戒区域

○土砂災害による被害を防止・軽減するため、危険の周知、警戒避難体制の整備を行う区域

- 警戒避難体制の整備【市町村等】
- ハザードマップの配布【市町村等】
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等【施設管理者】

土砂災害ハザードマップの作成・配布  
(茨城県鉾田市)

住民の避難訓練状況  
(沖縄県浦添市)



### 土砂災害特別警戒区域

○避難に配慮を要する方々が利用する要配慮者利用施設等が新たに土砂災害の危険性の高い区域に立地することを未然に防止するため、開発段階から規制していく必要性が特に高いものに対象を限定し、特定の開発行為を許可制とするなどの制限や建築物の構造規制等を行う区域。

- 特定開発行為に対する制限【都道府県】
- 建築物の構造規制【都道府県または市町村】
- 建築物の移転等の勧告【都道府県】

特定開発行為に対する許可制



建築物の構造規制



建築物の移転等の勧告



<https://www.mlit.go.jp/river/sabo/sinpoupdf/gaiyou.pdf>

▶ 「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の危険性を知りたい

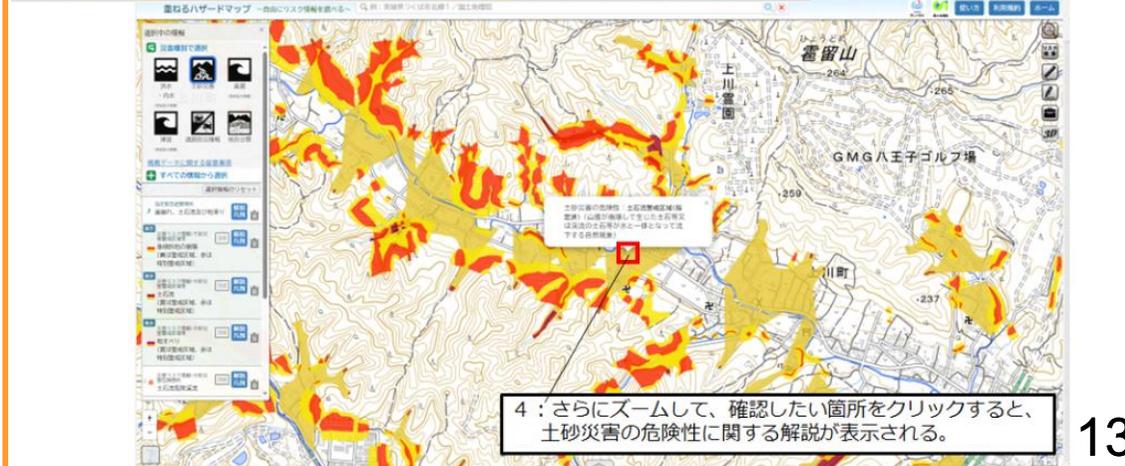
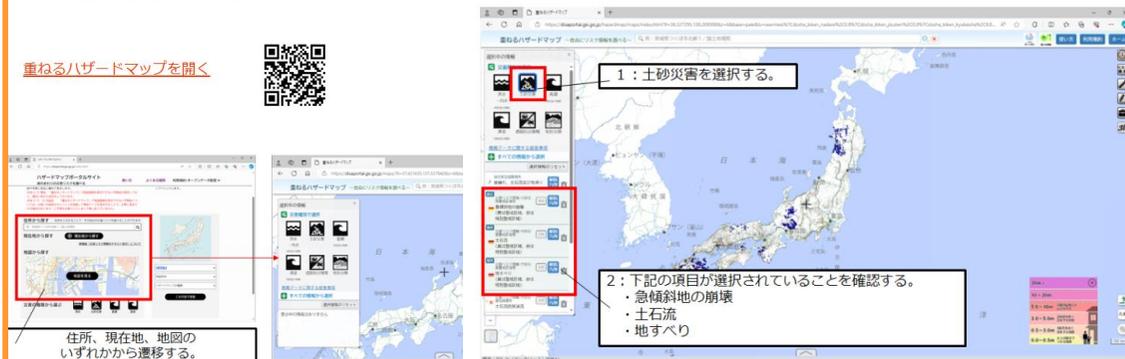
▶ 土砂災害における避難のタイミングを確認したい

ホーム > 水災害リスク知る > 土砂災害のリスク情報 > 「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の危険性

## 「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の危険性を知りたい

土砂災害のリスクは、自治体等が作成・公表しているハザードマップから確認することができます。ここでは、「重ねるハザードマップ」を事例にして、リスクの確認方法を紹介いたします。

重ねるハザードマップを開く

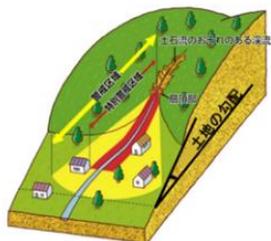


## 知って使おう 土砂災害のリスク情報！

土砂災害の発生の恐れがある区域として、「土石流」「地滑り」「急傾斜地の崩壊」ごとに土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域が指定されています。特に、土砂災害特別警戒区域では、特定開発行為に関する制限や建築物の構造規制、移転等の勧告等が行われる区域となります。

### 土石流

※山腹が崩壊して生じた土石等又は渓流の土石等が水と一体となって流下する自然現象



・土地の勾配2度以上

### 地滑り

※土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象又はこれに伴って移動する自然現象

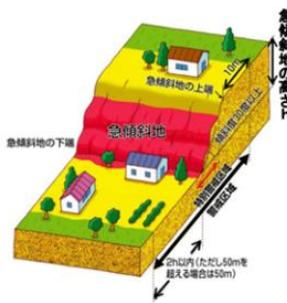


・地滑りの長さの2倍以内<sup>※1</sup>

※1 ただし250mを超える場合は250m

### 急傾斜地の崩壊

※傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象



・急傾斜地の上端から10m<sup>※2</sup>

・急傾斜地の下端から高さの2倍以内

※2 ただし50mを超える場合は50m

### 土砂災害警戒区域

○土砂災害による被害を防止・軽減するため、危険の周知、警戒避難体制の整備を行う区域

- 警戒避難体制の整備【市町村等】
- ハザードマップの配布【市町村等】
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等【施設管理者】

土砂災害ハザードマップの作成・配布  
(茨城県鉾田市)

住民の避難訓練状況  
(沖縄県浦添市)



### 土砂災害特別警戒区域

○避難に配慮を要する方々が利用する要配慮者利用施設等が新たに土砂災害の危険性の高い区域に立地することを未然に防止するため、開発段階から規制していく必要性が特に高いものに対象を限定し、特定の開発行為を許可制とするなどの制限や建築物の構造規制等を行う区域。

- 特定開発行為に対する制限【都道府県】
- 建築物の構造規制【都道府県または市町村】
- 建築物の移転等の勧告【都道府県】



## 土砂災害における避難のタイミングを確認したい

大雨によって、土砂災害の危険度が高まった場合に、避難するタイミングとして確認すべき情報は、**大雨警報（土砂災害）**、**土砂災害警戒情報**、**大雨特別警報（土砂災害）**となります。それぞれの情報に応じて、避難する対象者、とるべき避難行動が異なります。

### 大雨警報 (土砂災害)

警戒レベル3相当  
危険な場所から  
高齢者等は避難



土砂災害警戒区域の  
「内」から「外」へ避難する。



←土砂災害が  
想定される区域  
(土砂災害警戒区域)

### 土砂災害 警戒情報

警戒レベル4相当  
危険な場所から  
全員避難

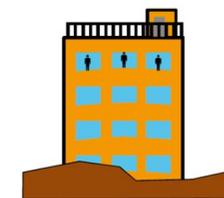


### 大雨特別警報 (土砂災害)

警戒レベル5相当  
命の危険  
直ちに安全確保！  
土砂災害がすでに発生している  
可能性が高い



近隣の堅牢な  
高い建物<sup>※</sup>の高層階へ  
「移動」  
※鉄筋コンクリート造等



自宅外への避難に余裕がない場合や、  
既に自宅の外が危険な状況の場合、  
斜面と反対側の2階以上の部屋に「退避」



<https://www.mlit.go.jp/river/sabo/sinpoupdf/gaiyou.pdf>

▶ 「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の危険性を知りたい

▶ 土砂災害における避難のタイミングを確認したい